

昭和二十五年十二月十二日提出  
質問 第一九号

朝鮮内戦と日本人の生死に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十五年十二月十二日

提出者 横田 甚太郎

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

## 朝鮮内戦と日本人の生死に関する質問主意書

第九回国会に提出した質問主意書に対する政府答弁中「朝鮮動乱以来、連合国軍の発する労務要求書に基いて政府が、提供した労務者（L・R労務者）で朝鮮に行っている者がある趣であるが何人あるかは不明である。」となっている。

そこで改めて次の点について質問する。

政府が不明であると回答するに至つては不謹慎、不誠意この上ない。日本人の現住するところ、日本人の労働するところ、すべて日本人の生命、財産を日本国政府自身が知らずしてだれが知つているのか。日本人にして日本政府が所在不明と、その生死不明として、その存在のわからない人々は全国に何人あるのか。

右質問する。